

第3節 中央区

(1) 母子保健事業

①子育てサークル情報交換会

目的：サークル間の情報交換、サークル活動の活性化。

内容：情報交換、新規事業の紹介、こども家庭支援室からの報告など、年2回実施（うち1回書面開催）。

②発達障害児のための相談室（予約制）

目的：発達障害の早期発見、早期支援。

内容：発達障害が疑われるケースで保護者が相談を希望する人を対象に専門家によるテスト及び相談を実施する。相談者数 27組 67人。

③子育て情報誌 ほっとほっと

目的：子育てをしている保護者や関係機関に身近な情報を提供。

内容：区内の子育て支援情報を掲載し、新生児訪問対象者、4ヶ月健診受診者、転入者、区内子育て支援機関等に配布し、子育てに係る情報提供を行う。

④ペアレントトレーニング事業「トリプルPに学ぶ前向き子育てプログラム」

目的：トリプルPを通じて、子どもの行動の捉え方、子どもへの具体的ななかかわり方、関係作りなどについて、保護者が学ぶ機会を提供し、子育てに前向きに取り組めるよう支援する。ひいては児童虐待の防止、早期発見に寄与する。

内容：トリプルP紹介セミナー（3回）、グループトリプルP（グループセッション5回、電話セッション2～3回）、単発講座セミナー（オンライン配信3回）

参加者数

| 紹介セミナー (3回延べ人数) | グループトリプルP | 単発講座セミナー (3回延べ人数) |
|--------------------|------------|----------------------|
| 24名 | 10名(申込16名) | 91名 |

⑤子育て支援者のための養成プログラム

目的：地域の子育て関係者（保育所（園）、幼稚園、児童館、主任児童委員、小学校教諭等）が発達障害・虐待防止についての理解を深め、連携強化を図る。

内容：区内子育て支援機関の職員、主任児童委員等に対し、発達障害や虐待防止に係る研修会を実施しスキルアップを目指す。

| 日程 | 内容・講師 | 参加者数 |
|----------|--|------|
| 6月28日(月) | トリプルPに学ぶ前向き子育てプログラム紹介セミナー (ペアレントトレーニング事業の一環として実施) 講師：白山 真知子 先生 | 40人 |
| 3月7日(月) | 発達に課題のある子どもと家族への支援 ～家族への伝え方・コロナ禍での子どもの支援～ 講師：竹田 契一 先生 ※新型コロナウイルス感染症拡大のためオンライン (ZOOM) 開催。 | 70人 |

(2) 成・老人保健事業

①結核ハイリスク者健診（ビューアー付きデジタル検診車での胸部X線健診）

目的：結核発病リスクの高い高齢者や、いわゆる社会的経済的弱者で胸部X線検査を受ける機会を逸してしまう住民（ハイリスク者）に対し、結核の啓発と健診を実施し、即時に受診勧奨等の支援を行い治療につなげ、結核の蔓延防止及び予防に努める。

令和3年度、無料宿泊施設等で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。検体採取のみ19人に実施。

②健康づくり続け隊

目的：地域住民が自ら主体的に健康づくりに取り組むことを目的とし、健康づくりに関する情報提供や学習、住民同士の交流の場を設け、活動継続のための支援を行うことで健康寿命の延伸を図る。

内容：一般市民を対象に健康づくりサポーターを養成するセミナーを5回シリーズ（講義と運動実技）で実施。令和2年度より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催せず。

(3) その他

①区民健康セミナー（健康推進協議会活動）

目的：平成12年8月に、区民のための自主的活動として、保健福祉および衛生水準の向上と健康づくりの促進を図るため三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）、婦人会、自治会、老人クラブ等により中央区健康推進協議会が結成された。その活動の一環として、主に三師会の協力を得て開催。

内容：令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

例年は、健康づくり、健康問題、医療情報等区民の関心が高いテーマを取り上げ、医師会・歯科医師会・薬剤師会の講師により3回実施している。